



平成22年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年9月6日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷 忠晴 (TEL) 0561-32-2285  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 山本 豊 配当支払開始予定日 -  
 四半期報告書提出予定日 平成22年9月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年10月期第3四半期の連結業績（平成21年11月1日～平成22年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第3四半期	8,869	22.5	854	—	873	—	422	—
21年10月期第3四半期	7,239	—	73	—	35	—	△235	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年10月期第3四半期	57	68	—	—
21年10月期第3四半期	△32	21	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年10月期第3四半期	15,951	12,016	12,016	11,445	71.8	1,562	72	
21年10月期	15,538	11,622	11,622	11,134	71.7	1,520	18	

(参考) 自己資本 22年10月期第3四半期 11,445百万円 21年10月期 11,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年10月期	—	—	6	00	6	00
22年10月期	—	—	8	00	—	—
22年10月期（予想）	—	—	—	—	8	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年10月期の連結業績予想（平成21年11月1日～平成22年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,900	17.4	1,130	232.7	1,160	322.1	535	—	73	05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー 社 (社名) 除外 ー 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年10月期3Q	7,324,800株	21年10月期	7,324,800株
22年10月期3Q	782株	21年10月期	631株
22年10月期3Q	7,324,152株	21年10月期3Q	7,324,169株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信 [添付資料] 3 ページ「1. 当四半期の連結業績予想等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(第3四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 販売実績 .....	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめ新興国の需要増加や政府のエコポイント制度・エコカー減税等の経済対策により、企業業績は緩やかに回復してまいりましたが、一方で欧州諸国の財政問題による信用不安の広がりや円高の影響等、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは前連結会計年度に引き続き当連結会計年度もコスト削減に努め、また、原材料等の見直しなどによる原価低減に取り組むとともに、顧客ニーズに即した製品の開発・拡販に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,869百万円（前年同期比22.5%増）、営業利益854百万円（前年同期比1,063.1%増）、経常利益873百万円（前年同期比2,362.2%増）、四半期純利益422百万円（前年同期は235百万円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①塗料事業

金属用塗料分野では、市況全体の力強さに欠け回復半ばの状況にあるものの、産業機械関連等で生産量が回復してきたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。木工建材用塗料分野は、新規住宅着工件数の減少により市場の低迷が続いており需要は低調となりましたが、一部の大手ユーザーにおいてシェアアップが図れたこともあり、売上高は前年同期に比べ微増いたしました。無機材用塗料分野でも、同様に市況の低迷が続いているものの、大手ユーザーでの新規提案製品の採用率が高まりシェアアップが図れたことにより、売上高は前年同期に比べ大きく増加いたしました。その他の分野では、樹脂素材分野において携帯情報端末への採用により出荷量が大きく伸長したことや、シンナーにおいて新規ユーザーの獲得ができたことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

その結果、塗料事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は7,390百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

#### ②ファインケミカル事業

LCD用微粒子は、LCDメーカーの生産量が回復しつつあるものの、売上高は前年同期に比べ微増にとどまりました。化成品におけるシリコン系表面機能材料や光学材料向けの自己治癒コーティング材につきましては、メーカーの生産量回復により、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,363百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

#### ③その他の事業

産業廃棄物の収集運搬におきましては、排出事業者の事業所統廃合や設備の合理化に伴う廃棄物の一時的な増加や、エコカー減税等の延長に伴い自動車産業界の生産が順調に推移したことで、廃棄物の取扱量が増加したことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、その他の事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は115百万円（前年同期比13.4%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ412百万円の増加となり、15,951百万円となりました。また、負債は、前連結会計年度末に比べ18百万円の増加となり、3,934百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ394百万円の増加となり、12,016百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、未収入金が151百万円、有形固定資産が276百万円、投資有価証券が222百万円減少したものの、現金及び預金が638百万円、受取手形及び売掛金が200百万円、有価証券が167百万円増加したことによるものであります。

負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が137百万円、未払法人税等が273百万円、預り金が43百万円、仮受消費税が81百万円増加したものの、未払金が498百万円減少したことによるものであります。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金319百万円の増加によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ334百万円増加し、4,222百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,247百万円（前年同期比1,603.0%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益870百万円、減価償却費415百万円、仕入債務の増加138百万円、法人税等の還付123百万円による資金の増加と売上債権の増加202百万円による資金の減少によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、812百万円（前年同期比1,104.1%増）となりました。これは主に資金運用における有価証券、信託受益権及び投資有価証券の売却等による収入2,169百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出535百万円、定期預金の預入206百万円、有価証券、信託受益権及び投資有価証券の取得による支出2,216百万円による資金の減少によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、97百万円（前年同期比1.4%減）となりました。これは主に配当金の支払97百万円によるものであります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月期の通期業績予想につきましては、平成22年6月4日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

## （1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## （2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## （簡便な会計処理）

## ① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結累計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

## ② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ③ 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を採用しております。

## ④ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## （四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

## （3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,482,778	3,843,809
受取手形及び売掛金	3,945,532	3,744,872
有価証券	367,461	199,970
商品及び製品	640,882	604,690
仕掛品	60,432	47,885
原材料及び貯蔵品	320,071	284,985
繰延税金資産	86,105	81,675
その他	549,744	688,317
貸倒引当金	△7,421	△6,907
流動資産合計	10,445,586	9,489,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,290,835	2,428,477
機械装置及び運搬具(純額)	705,822	850,513
土地	1,713,470	1,713,470
その他(純額)	180,417	174,314
有形固定資産合計	4,890,546	5,166,775
無形固定資産		
投資その他の資産	130,943	160,992
投資有価証券	310,521	532,621
繰延税金資産	7,778	6,904
その他	270,568	288,896
貸倒引当金	△104,866	△106,799
投資その他の資産合計	484,001	721,621
固定資産合計	5,505,491	6,049,390
資産合計	15,951,078	15,538,691
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,378,729	2,240,870
未払法人税等	317,610	43,916
賞与引当金	104,954	183,459
役員賞与引当金	19,890	6,350
その他	689,784	1,036,064
流動負債合計	3,510,969	3,510,660
固定負債		
退職給付引当金	85,342	91,720
役員退職慰労引当金	191,021	180,345
繰延税金負債	19,938	10,373
その他	127,393	123,316
固定負債合計	423,696	405,755
負債合計	3,934,665	3,916,415

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	2,288,760
利益剰余金	7,506,747	7,186,821
自己株式	△2,537	△2,427
株主資本合計	11,419,310	11,099,494
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,914	12,131
為替換算調整勘定	14,150	22,457
評価・換算差額等合計	26,064	34,588
少数株主持分	571,037	488,191
純資産合計	12,016,412	11,622,275
負債純資産合計	15,951,078	15,538,691

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)
売上高	7,239,413	8,869,104
売上原価	5,741,915	6,433,568
売上総利益	1,497,497	2,435,535
販売費及び一般管理費	1,424,067	1,581,434
営業利益	73,430	854,101
営業外収益		
受取利息	9,855	7,067
受取配当金	8,337	5,778
投資有価証券売却益	—	2,141
投資有価証券評価益	9,642	—
その他	19,135	28,675
営業外収益合計	46,970	43,661
営業外費用		
支払利息	197	78
有価証券評価損	—	10,513
売上割引	11,455	7,208
為替差損	5,072	5,912
貸倒引当金繰入額	68,208	250
その他	0	592
営業外費用合計	84,935	24,553
経常利益	35,465	873,209
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	139
固定資産売却益	97	—
投資有価証券売却益	2,280	—
特別利益合計	2,377	139
特別損失		
固定資産処分損	29,952	2,587
投資有価証券売却損	45,077	265
投資有価証券評価損	999	—
その他	749	—
特別損失合計	76,779	2,852
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,936	870,496
法人税、住民税及び事業税	40,005	366,900
法人税等調整額	98,651	△1,747
法人税等合計	138,657	365,152
少数株主利益	58,337	82,878
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△235,931	422,464

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)
売上高	2,588,897	3,066,460
売上原価	1,957,926	2,264,155
売上総利益	630,971	802,304
販売費及び一般管理費	474,327	526,158
営業利益	156,643	276,145
営業外収益		
受取利息	2,909	2,217
受取配当金	4,866	4,035
投資有価証券評価益	6,097	—
その他	6,278	5,941
営業外収益合計	20,151	12,194
営業外費用		
支払利息	12	26
有価証券評価損	—	12,155
売上割引	2,300	2,403
為替差損	2,883	8,606
貸倒引当金繰入額	8,228	—
その他	0	20
営業外費用合計	13,423	23,212
経常利益	163,371	265,127
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	642
固定資産売却益	87	—
特別利益合計	87	642
特別損失		
固定資産処分損	22,283	738
特別損失合計	22,283	738
税金等調整前四半期純利益	141,175	265,032
法人税、住民税及び事業税	14,928	76,109
法人税等調整額	△59,746	28,910
法人税等合計	△44,818	105,019
少数株主利益	23,622	27,658
四半期純利益	162,371	132,353

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△38,936	870,496
減価償却費	419,770	415,540
貸倒引当金の増減額(△は減少)	66,566	△1,418
退職給付引当金の増減額(△は減少)	36,831	△6,378
受取利息及び受取配当金	△18,192	△12,845
支払利息	197	78
有価証券評価損益(△は益)	—	10,513
投資有価証券売却損益(△は益)	42,797	△1,876
投資有価証券評価損益(△は益)	△8,642	—
固定資産処分損益(△は益)	29,902	2,192
固定資産売却損益(△は益)	△97	—
為替差損益(△は益)	5,072	5,214
売上債権の増減額(△は増加)	702,023	△202,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	246,566	△85,802
仕入債務の増減額(△は減少)	△888,151	138,835
その他	△257,210	71,129
小計	338,497	1,202,717
利息及び配当金の受取額	18,476	11,809
利息の支払額	△197	△78
法人税等の還付額	—	123,863
法人税等の支払額	△283,547	△91,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,228	1,247,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000	△206,000
定期預金の払戻による収入	151,000	1,000
有価証券の取得による支出	△100,000	△399,950
有価証券の償還による収入	—	300,000
信託受益権の取得による支出	△1,100,000	△1,600,000
信託受益権の売却による収入	1,202,918	1,601,268
有形固定資産の取得による支出	△353,478	△535,354
有形固定資産の売却による収入	2,169	35
無形固定資産の取得による支出	△63,132	△31,788
投資有価証券の取得による支出	△1,034	△216,369
投資有価証券の売却による収入	199,850	268,116
関係会社短期貸付金の貸付による支出	△60,000	△73,000
関係会社短期貸付金の回収による収入	40,000	60,000
関係会社長期貸付金の回収による収入	18,068	23,400
差入保証金の差入による支出	△622	△1,013
差入保証金の回収による収入	553	363
その他	△2,793	△3,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,500	△812,761

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△99,063	△97,530
自己株式の取得による支出	—	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,063	△97,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,241	△2,681
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△96,576	334,004
現金及び現金同等物の期首残高	3,876,797	3,888,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,780,220	4,222,778

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年7月31日）

	塗料事業 (千円)	ファインケ ミカル事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,034,731	1,103,276	101,405	7,239,413	—	7,239,413
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	6,034,731	1,103,276	101,405	7,239,413	(—)	7,239,413
営業利益	83,167	100,141	47,268	230,577	(157,147)	73,430

当第3四半期連結累計期間（自平成21年11月1日 至平成22年7月31日）

	塗料事業 (千円)	ファインケ ミカル事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,390,137	1,363,935	115,031	8,869,104	—	8,869,104
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	7,390,137	1,363,935	115,031	8,869,104	(—)	8,869,104
営業利益	759,200	224,272	62,948	1,046,421	(192,320)	854,101

(注) 1. 事業区分は、売上の集計区分によっております。

## 2. 各事業の主要な製品

塗料事業	合成樹脂塗料及びシンナー
ファインケミカル事業	LCD用微粒子、高機能性樹脂
その他の事業	廃溶剤の収集運搬

## 3. 会計処理の方法の変更

前第3四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年7月31日）

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）を適用しております。これに伴い、従来の方によった場合と比べ、営業利益は塗料事業で1,519千円、ファインケミカル事業で20,818千円それぞれ減少しております。

## 4. 追加情報

前第3四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年7月31日）

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として耐用年数の見直しを行い、有形固定資産の一部について耐用年数の変更を行っております。この変更に伴い、従来の方によった場合と比べ、営業利益が塗料事業で11,985千円減少、ファインケミカル事業で1,755千円増加しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年7月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成21年11月1日 至平成22年7月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年7月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	738,786	28,725	767,511
II 連結売上高（千円）	—	—	7,239,413
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.2	0.4	10.6

当第3四半期連結累計期間（自平成21年11月1日 至平成22年7月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,108,673	24,163	1,132,837
II 連結売上高（千円）	—	—	8,869,104
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.5	0.3	12.8

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・中国、韓国、台湾等

(2) その他の地域・・・アメリカ等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)	前年同四半期比 (%)
塗料事業 (千円)	6,034,731	7,390,137	+22.5
金属用塗料 (千円)	2,392,956	2,747,021	+14.8
木工建材用塗料 (千円)	1,459,494	1,554,421	+6.5
無機材用塗料 (千円)	1,299,747	1,751,471	+34.8
その他 (千円)	882,533	1,337,222	+51.5
ファインケミカル事業 (千円)	1,103,276	1,363,935	+23.6
その他の事業 (千円)	101,405	115,031	+13.4
合計 (千円)	7,239,413	8,869,104	+22.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。